

2021年3月1日

各 位

会社名	ベイビュー・アセット・マネジメント株式会社
代表者名	代表取締役社長兼CEO 八木 健
金融商品取引業者	登録番号 関東財務局長(金商)第397号
加入協会	一般社団法人 投資信託協会 一般社団法人 日本投資顧問業協会
問い合わせ先	管理部 岩田 浩明 03-5210-3342

「米国配当アクセラレーター ファンド」新規設定に関するお知らせ

ベイビュー・アセット・マネジメント株式会社（代表取締役社長 兼 CEO：八木健 以下、「当社」）は、この度、包括的な運用業務提携契約を締結する Victory Capital Management Inc.（以下、「Victory Capital 社」）傘下のスマートベータ戦略に特化した運用チーム Victory Solutions に運用を再委託する私募投資信託「米国配当アクセラレーター ファンド」（以下、「当ファンド」）を、2021年3月1日に新規設定致しましたのでご案内申し上げます。

代表的なスマートベータの1つである高配当銘柄に投資する戦略は、長期に亘り安定的な高配当を実現する主に成熟企業にフォーカスしたバリュー・アプローチで、市場サイクル等によりグロース投資が有利な局面では有効性が低下する傾向があります。そこで、Victory Solutions は、これまでのスマートベータにはなかった「クオリティ（質の高い収益）」と「成長（連続増配）」を重視する「配当アクセラレーター」という新たな配当成長投資戦略を開発しました。具体的には、景気に左右されにくい収益構造を有する成長企業の中から、将来的に増配を継続できる企業を選別することで、配当によるインカム・ゲインの積み上げに加え、株価上昇によるキャピタル・ゲインの獲得を目指します。また、フォワード・ルッキングなスクリーニング指標を採用し、企業ライフ・サイクルの初期段階（スイート・スポット）にある企業にも投資します。

当ファンドを運用する Victory Solutions は、1996年に創設され、テキサス州サンアントニオ及びオハイオ州クリーブランドを主な拠点とし、独自のスマートベータ戦略を開発してきました。また、2003年より世界に先駆けスマートベータ運用の草分けとして指数の公表を開始、2014年には同指数に連動するETFを上場、現在はNASDAQと提携して新ブランド『Victory Shares』を創設し23本のETFを米国市場に上場しています。運用チームは14名の運用プロフェッショナルで構成され、Victory Solutions の運用資産総額は約386億ドルに達しています（2020年12月末現在）。

なお、Victory Capital 社は、テキサス州サンアントニオに本拠を置き、異なる資産クラスや戦略に特化したアクティブ運用を行う9つの運用フランチャイズと、ルールベース運用を行うチーム Victory Solutions を抱える米国屈指の独立系マルチ・ブティック型運用会社です。同社は、2019年バロンズ誌「全米運用会社ランキング*1」の評価期間5年で第7位、同1年においても6年連続25位以内にランクされています。

当社は、株式、債券、マルチ・アセット等のアクティブ運用に特化した日本の独立系ブティックハウスのパイオニア、そしてリーダーとして、創業来23年以上に亘り洗練された運用商品を提供して参りました。おかげさまで、年金基金を含む機関投資家から個人投資家に至るまで幅広い顧客層よりご信頼を頂き、約3,854億円*2（2020年12月末現在）の契約資産を擁する国内最大級の独立系運用会社へと着実に成長を遂げることができました。今後も引き続き、高品質なクライアント・サービスを提供する独自のプラットフォームの上に、自社運用商品に加え、Victory Solutions を含む米国の秀逸な運用ブティック等による商品群を取り揃えることで、日本における本格的なマルチ・ブティック型運用会社を目指す所存でございます。

以上

*1 全米843社を対象として、優れた運用実績をあげたミューチュアル・ファンド及びETFを有する運用会社を選ぶ「バロンズ・ベスト・ファンド・ファミリーズ」のランキングを指します。

*2 当社の海外提携先が運用する国内公募投資信託の残高を含みます。

当ファンドに係る留意事項

投資リスク

当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資等を通じて、外国株式等の値動きがある有価証券に投資し、有価証券先物取引等を活用することがありますので、ファンドの基準価額は変動します。

当ファンドの主要なリスクには、株価変動リスク・為替変動リスク・カントリーリスク・信用リスク・流動性リスク等がありますが、上記に限定されるものではありません。

従って、投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。

ファンド費用

運用管理費用（信託報酬）：日々の信託財産の純資産総額に対して年率 0.4312%（税抜 0.392%）

費用の合計額は、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することが出来ません。

本資料は、プレスリリースの為に、運用会社であるベイビュー・アセット・マネジメント株式会社が作成したものであり、特定の取引や商品あるいは有価証券の勧誘ないし推奨を目的としたものではありません。本資料は目的の如何を問わず、その全部または一部を当社の許可なしに複製・複写・転記する事、及び第三者に開示することを禁じます。